

DRUG



INFORMATION

2011 No. 55

平成23年12月2日発行

1. 医薬品の採用・中止・変更について1

(平成23年12月1日 薬事委員会結果報告)

- ①新規試用医薬品
- ②採用中止医薬品
- ③販売中止医薬品

2. 新規採用医薬品情報.....3

－新規試用医薬品－ 3

岐阜大学医学部附属病院・薬剤部
医薬品情報管理室
(内線7083)

※ Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@gifu-u.ac.jp (担当：安田)

医薬品の採用・中止・変更について —平成 23 年 12 月 1 日 薬事委員会結果報告—

①新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ガスモチン散 1%(モサプリドクエン酸塩水和物)	消化管運動機能改善剤
ジャヌビア錠 50mg(シタグリブチンリン酸塩水和物)	選択的 DPP-4 阻害剤
ネキシウムカプセル 20mg(エソメプラゾールマグネシウム水和物)	プロトンポンプ・インヒビター
ベタニス錠 50mg(ミラベグロン)	選択的 β_3 作動性過活動膀胱治療剤
メマリー錠 5mg(メマンチン塩酸塩)	アルツハイマー型認知症治療剤
メマリー錠 20mg(メマンチン塩酸塩)	アルツハイマー型認知症治療剤
リパクレオンカプセル 150mg(パンクレリパーゼ)	膵消化酵素補充剤
リリカカプセル 25mg(プレガバリン)	末梢性神経障害性疼痛治療剤
レキサプロ錠 10mg(エスシタロプラムシュウ酸塩)	選択的セロトニン再取り込み阻害剤
オキナゾール錠 600mg(オキシコナゾール硝酸塩)	抗真菌剤
オンブレス吸入用カプセル 150 μ g(インダカテロールマレイン酸塩)	長時間作用性吸入気管支拡張剤
スーブレン吸入麻酔液(デスフルタン)	全身吸入麻酔剤
フェントステープ 1mg(フェンタニルクエン酸塩)	経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤
フェントステープ 4mg(フェンタニルクエン酸塩)	経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤
ワンデュロパッチ 0.84mg(フェンタニル)	経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤
ワンデュロパッチ 3.4mg(フェンタニル)	経皮吸収型持続性癌疼痛治療剤
無水エタノール注「マイラン」 5mL(無水エタノール)	経皮的エタノール注入療法用剤
キュビシン静注用 350mg(ダプトマイシン)	環状リボペプチド系抗生物質製剤

平成 23 年 12 月 20 日より処方開始予定です。

②採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
クレスチン細粒(蛋白質結合多糖類)	抗悪性腫瘍剤
ゾビラックス顆粒 40%(アシクロビル)	抗ウイルス化学療法剤
ゾフラン錠 4mg(オンダンセトロン塩酸塩水和物)	5-HT ₃ 受容体拮抗型制吐剤
ノルバデックス錠 10mg(タモキシフェンクエン酸塩)	抗乳癌剤
ピーガード錠 20mg(モルヒネ硫酸塩水和物)	持続性癌疼痛治療剤
ラストテット S カプセル 25mg(エトポシド)	抗悪性腫瘍剤
ルリッド錠 150mg(ロキシンスロマイシン)	マクロライド系抗生剤
ロイケリン散 10%(メルカプトプリン水和物)	代謝拮抗剤
ローコール錠 20mg(フルバスタチンナトリウム)	HMG-CoA 還元酵素阻害剤
エンベシド錠 100mg(クロトリマゾール)	抗真菌剤
ステリクロン W 液 0.05%(クロルヘキシジングルコン酸塩)	外用殺菌消毒剤

院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

②採用中止医薬品(つづき)

医薬品名(成分名)	薬品分類
デスポコーワ口腔用クリーム(ヒドロコルチゾン酢酸エステル、他)	口内炎・歯周炎治療剤
フォーレン吸入麻酔液(イソフルラン)	吸入麻酔剤
フェロン注射用 600 万国単位(インターフェロンβ)	天然型インターフェロンβ製剤

院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

③販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
ケルナックカプセル 80mg(プラウノール)	胃炎・胃潰瘍治療剤

院内の在庫がなくなり次第、処方中止とします。

【新規試用医薬品】

【商】ガスモチン Gasmotin 大日本住友
内用：散剤 1g 中 10mg [41.1 円/g]
【効】①慢性胃炎に伴う消化器症状(胸やけ、悪心・嘔吐) ②経口腸管洗浄剤によるバリウム注腸 X 線造影検査前処置の補助
【用】①1 日 15mg を 3 回に分け食前又は食後に投与する。②経口腸管洗浄剤の投与開始時に本剤 20mg を経口腸管洗浄剤(約 180mL)で投与する。経口腸管洗浄剤投与終了後、本剤 20mg を少量の水で投与する。
【副】劇症肝炎、肝機能障害、黄疸
【妊】未確立、有益のみ
【授】回避、投与する場合は授乳中止
【小】未確立

*シタグリプチンリン酸塩水和物

Sitagliptin Phosphate Hydrate

【商】ジャヌビア Januvia MSD
内用：錠剤 1 錠中 50mg [179.3 円/錠]
【効】2 型糖尿病(ただし、下記のいずれかの治療で十分な効果が得られない場合に限る：(1)食事療法、運動療法のみ (2)食事療法、運動療法に加えてスルホニルウレア剤を使用 (3)食事療法、運動療法に加えてチアゾリジン系薬剤を使用 (4)食事療法、運動療法に加えてビグアナイド系薬剤を使用 (5)食事療法、運動療法に加えてα-グルコシダーゼ阻害剤を使用) (6)食事療法、運動療法に加えてインスリン製剤を使用
【用】50mg を 1 日 1 回投与する。効果不十分な場合には、100mg を 1 日 1 回まで増量することができる。
【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、重症ケトosis・糖尿病性昏睡又は前昏睡・1 型糖尿病の患者、血液透析又は腹膜透析を要する患者を含む重度腎機能障害のある患者、重症感染症・手術前後・重篤な外傷のある患者
【副】アナフィラキシー反応、Stevens-Johnson 症候群、剥脱性皮膚炎、低血糖症、肝機能障害、黄疸、急性腎不全、急性膵炎、間質性肺炎
【妊】未確立、有益のみ 【授】授乳回避
【小】未確立

*エソメプラゾールマグネシウム水和物

Esomeprazole Magnesium Hydrate

【商】ネキシウム Nexium 第一三共
内用：カプセル剤 1 カプセル中 20mg [168.9 円/Cp]
【効】①胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、Zollinger-Ellison 症候群 ②逆流性食道炎 ③非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 ④下記におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃 MALT リンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃
【用】①1 回 20mg を 1 日 1 回投与する。胃潰瘍、吻合部潰瘍では 8 週間まで、十二指腸潰瘍では 6 週間までの投与とする。②1 回 20mg を 1 日 1 回投与する。8 週間までの投与とする。再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法においては、1 回 10～20mg を 1 日 1 回投与する。③1 回 20mg を 1 日 1 回投与する。④エソメプラゾール 1 回 20mg、アモキシシリン水和物 1 回 750mg 及びクラリスロマイシン 1 回 200mg の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間投与する。クラリスロマイシンは、1 回 400mg 1 日 2 回を上限とする。《プロトンポンプインヒビター、アモキシシリン水和物及びクラリスロマイシンの 3 剤投与によるヘリコバクター・ピロリの除菌治療が不成功の場合》エソメプラゾール 1 回 20mg、アモキシシリン水和物 1 回 750mg 及びメトロニダゾール 1 回 250mg の 3 剤を同時に 1 日 2 回、7 日間投与する。
【禁】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者、アタザナビル硫酸塩を投与中の患者
【副】ショック、アナフィラキシー様症状、汎血球減少症、無顆粒球症、血小板減少、劇症肝炎、肝機能障害、黄疸、肝不全、TEN、Stevens-Johnson 症候群、間質性腎炎、低ナトリウム血症、錯乱状態、溶血性貧血★、視力障害★、急性腎不全★、間質性肺炎★、横紋筋融解症★
【妊】未確立、有益のみ
【授】原則回避、投与する場合は授乳回避
【小】未確立

＊ミラベグロン Mirabegron

【商】ベタニス Betanis アステラス

内用：錠剤(徐放性)㉑ 1錠中 50mg
[189.8 円/錠]

【効】過活動膀胱における尿意切迫感・頻尿及び切迫性尿失禁

【用】50mg を1日1回食後に投与する。

【警】生殖可能な年齢の患者への本剤の投与はできる限り避けること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、重篤な心疾患を有する患者、妊婦及び妊娠している可能性のある婦人、授乳婦、重度の肝機能障害患者(Child-Pugh スコア 10 以上)、フレカイニド酢酸塩あるいはプロパフェノン塩酸塩投与中の患者

【妊・授】禁忌

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊メマンチン塩酸塩 Memantine Hydrochloride

【商】メマリー Memary 第一三共

内用：錠剤㉑ 1錠中 5mg [133.9 円/錠]
20mg [427.5 円/錠]

【効】中等度及び高度アルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制

【用】1日1回 5mg から開始し、1週間に 5mg ずつ増量し、維持量として1日1回 20mg を投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】痙攣、失神、意識消失、精神症状

【妊】有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊パンクレリパーゼ Pancrelipase

【商】リパクレオン LipaCreon エーザイ

内用：カプセル剤 1カプセル中 150mg
[31.6 円/Cp]

【効】膵外分泌機能不全における膵消化酵素の補充

【用】1回 600mg を1日3回、食直後に投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、ブタ蛋白質に対し過敏症の既往歴のある患者

【妊】未確立、有益のみ

【低・新】未確立

＊プレガバリン Pregabalin

【商】リリカ Lyrica ファイザー

内用：カプセル剤 1カプセル中 25mg
[100.5 円/Cp]

【効】末梢性神経障害性疼痛

【用】初期用量として1日 150mg を1日2回に分けて投与し、その後1週間以上かけて1日 300mg まで漸増する。1日最高用量は 600mg を超えないこととし、いずれも1日2回に分けて投与する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】心不全、肺水腫、意識消失、横紋筋融解症、腎不全、血管浮腫

【妊】未確立、有益のみ

【授】授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊エスシタロプラムシュウ酸塩

Escitalopram Oxalate

【商】レクサプロ Lexapro 持田

内用：錠剤㉑ 1錠中 10mg [212 円/錠]

【効】うつ病・うつ状態

【用】10mg を1日1回夕食後に投与する。増量は1週間以上の間隔をあけて行い、1日最高用量は 20mg を超えないこととする。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者、MAO 阻害剤を投与中あるいは投与中止後 14 日間以内の患者、ピモジドを投与中の患者

【副】痙攣、抗利尿ホルモン不適合分泌症候群、セロトニン症候群

【妊】未確立、有益のみ

【授】原則回避、投与する場合は授乳回避

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊オキシコナゾール硝酸塩 Oxiconazole Nitrate

【商】オキナゾール Okinazole 田辺三菱

外用：錠剤 1錠中 600mg [342.8 円/錠]

【効】カンジダに起因する膣炎及び外陰膣炎

【用】1週1回 600mg を膣深部に挿入する。真菌学的効果(一次効果)が得られない場合は、更に1回 600mg 使用する。

【禁】本剤及び他のオキシコナゾール硝酸塩製剤に過敏な患者

【妊】未確立、妊娠 12 週未満：有益のみ

【貯】遮光

＊インダカテロールマレイン酸塩

Indacaterol Maleate

【商】オンブレス Onbrez ノバルティス
外用：カプセル剤 1 カプセル中 150 μ g
[139.6 円/Cp]

【効】慢性閉塞性肺疾患（慢性気管支炎、肺気腫）の気道閉塞性障害に基づく諸症状の緩解

【用】1 回 150 μ g を 1 日 1 回本剤専用の吸入用器具を用いて吸入する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【副】重篤な血清カリウム値の低下

【妊】未確立、有益のみ

【授】有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊デスフルラン Desflurane

【商】スープレックス Suprane バクスター
外用：吸入剤^麻 1mL 中 1mL [43.7 円/mL]

【効】全身麻酔の維持

【用】3%の濃度で開始し、適切な麻酔深度が得られるよう患者の全身状態を観察しながら、濃度を調節する。亜酸化窒素の併用の有無にかかわらず、7.6%以下の濃度で外科的手術に適切な麻酔深度が得られる。

【禁】本剤又は他のハロゲン化麻酔剤に対する過敏症の既往歴のある患者、悪性高熱の既往歴又は血族に悪性高熱の既往歴のある患者

【副】悪性高熱、高カリウム血症、重篤な不整脈、横紋筋融解症、ショック、アナフィラキシー様症状、肝機能障害、黄疸

【妊】未確立、有益のみ

【低・新・乳・幼・小】未確立

＊フェンタニルクエン酸塩 Fentanyl Citrate

【商】フェントス Fentos 協和発酵キリン
外用：テープ剤^麻

1 枚 (5cm²) 中 1mg [570.6 円/枚]

1 枚 (20cm²) 中 4mg [1,982.4 円/枚]

【効】非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮

痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】本剤は、オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1 日（約 24 時間）毎に貼り替えて使用する。初回貼付用量は本剤貼付前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、1mg、2mg、4mg、6mg のいずれかの用量を選択する。

【警】本剤貼付部位の温度が上昇するとフェンタニルの吸収量が増加し、過量投与になり、死に至るおそれがある。本剤貼付中は、外部熱源への接触、熱い温度での入浴等を避けること。発熱時には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に注意すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症のある患者

【副】呼吸抑制、意識障害、依存性[★]、ショック[★]、アナフィラキシー様症状[★]、痙攣[★]

【妊】有益のみ

【授】授乳回避

【小】未確立

＊フェンタニル Fentanyl

【商】ワンデュロ OneDuro ヤンセン
外用：貼付剤^麻

1 枚 (4cm²) 中 0.84mg [564.6 円/枚]

1 枚 (16cm²) 中 3.4mg [1,982.5 円/枚]

【効】非オピオイド鎮痛剤及び弱オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記疾患における鎮痛（ただし、他のオピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する場合には限る）：中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】本剤は、オピオイド鎮痛剤から切り替えて使用する。胸部、腹部、上腕部、大腿部等に貼付し、1 日（約 24 時間）毎に貼り替えて使用する。初回貼付用量は本剤投与前に使用していたオピオイド鎮痛剤の用法・用量を勘案して、0.84mg、1.7mg、3.4mg、5mg のいずれかの用量を選択する。

【警】本剤貼付部位の温度が上昇するとフェンタニルの吸収量が増加し、過量投与になり、死に至るおそれがある。本剤貼付中は、外部熱源への接触、熱い温度での入浴等を避けること。発熱時には患者の状態を十分に観察し、副作用

の発現に注意すること。

【禁】本剤の成分に対し過敏症のある患者

【副】依存性、呼吸抑制、意識障害、ショック、アナフィラキシー様症状、痙攣

【妊】有益のみ

【授】授乳回避

【小】未確立

【副】ショック、アナフィラキシー様症状、横紋筋融解症、好酸球性肺炎、末梢性ニューロパシー、腎不全、偽膜性大腸炎

【妊】未確立、有益のみ

【授】投与する場合は授乳回避

【小】未確立

【貯】2～8℃

＊無水エタノール Anhydrated Ethanol

【商】無水エタノール Dehydrated Ethanol

マイラン

注射：液剤 1 管 (5mL) 中 5mL

【効】肝細胞癌における経皮的エタノール注入療法

【用】腫瘍病変毎に対して、総注入量は腫瘍体積により決定する。患者当たり 1 日注入量は最大 10mL 以内を原則とする。総注入量が 1 日最大注入量を超える場合、数日に分けて治療を行うが、週 2 回の注入手技を限度とする。

【警】経皮的エタノール注入療法は、緊急時に十分処置できる医療施設及び経皮的エタノール注入療法に十分な経験を持つ医師のもとで、本療法が適切と判断される症例についてのみ実施すること。

【禁】エタノールに対し過敏症の既往歴のある患者、総ビリルビン値が 3mg/dL 以上の患者又は管理困難な腹水を有する等、重篤な肝障害を有する患者[#]、重篤な出血傾向を有する患者[#]

【副】ショック、心筋梗塞

【妊】原則禁忌

【授】授乳中止

【小】未確立

【貯】遮光

＊ダプトマイシン Daptomycin

【商】キュービシン Cubicin MSD

注射：1 瓶中 350mg [13,154 円/瓶]

【効】①敗血症、感染性心内膜炎 ②深在性皮膚感染症、外傷・熱傷及び手術創等の二次感染、びらん・潰瘍の二次感染

【用】①1 日 1 回 6mg/kg を 24 時間ごとに 30 分かけて点滴静注する。②1 日 1 回 4mg/kg を 24 時間ごとに 30 分かけて点滴静注する。

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者